

ゼロ

# 0から創る奈良

2012.3.5.MON

vol.47

市民が主役の奈良市政をめざします。

## topic

### 「攻めの一手」予算

2012年3月5日 仲川げん後援会

# 仲川げん

書:紫舟



平成24年度の予算案が完成し、先日議会・記者内示を行いました。扶助費と呼ばれる福祉関係予算(生活保護費・障害者自立支援給付費等)がここ数年急増している中、税金は右肩下がりという状況下で、如何に市民生活を守り、街の魅力や活力を高める戦略分野への投資も行い、かつ市債残高(借金)を減らすか?という難問を前に、昨年秋から編成に取り組んできました。最終的には一般会計予算案が対前年比0.5%減の1235億5000万円に「何とか収まった」形となりました。財源不足への対応策としては、過去3年間実施してきた職員給与の削減額を約1.5倍に拡大すると共に、問題となっていた特殊勤務手当や超過勤務手当等の手当の大幅カット、さらに市長のボーナス3割カット等、行政自身が身を切る事も断行します。

個別施策としては、徹底した待機児童対策として民間保育所の増改築や西大寺駅南側の市有地への保育所新設、保育士の大幅増員等あらゆる対策を講じていきます。また市立奈良病院の敷地内に病児保育施設を設置するほか、小学校のバンビーホームの開所時間の繰上げや中学校給食の導入に向けた施設整備等、子育て環境の向上をめざします。また休日夜間応急診療所の建替や、21小学校区での防災用備蓄倉庫の設置、災害時に威力を発揮するデジタル同報系防災無線網の整備(24~26年・総額5億6700万円)等、市民の不安を1つずつ解決していきたいと考えています。一方、攻めの姿勢としては、外国人観光客誘致のためのプロモーション活動や受入体制の強化、ならまち・きたまちでの観光案内機能の充実、月ヶ瀬温泉のリニューアル等、基幹産業としての観光を育てる取り組みに力を入れるほか、もちいどのセンター街にあるマーチャントシードセンターを若者の創業支援の拠点とする等、街の成長戦略の大きな一歩を踏み出す「攻めの一手」予算と位置付けています。(裏面へつづく)

### 市長ブログ、更新中!

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます!

携帯からもご覧いただけます。→



市長の日常をより身近に  
ツイッター始めました。→ @nakagawagen

<http://www.nakagawagen.net/blog/>



### プロフィール

1976年(昭和51年)奈良県生まれ。  
北大和(現奈良北)高校を経て、1998年立命館大学経済学部卒業。  
帝国石油(現国際石油開発帝石)株式会社を経て、2002年より、NPO法人奈良NPOセンターで勤務。県内NPOの活動支援を行う一方、子どもの体験プログラムや学びを通じた地域活性事業に取り組む。現場で活動する中、社会を抜本的によくするには、政治や行政を変革する必要があると強く感じ、政治の道を志すことを決意。2009年7月、「ゼロから創る奈良」を掲げ、奈良市長に当選。  
共著「赤ずきんと新しい狼のいる世界~子どもの安全・保護と自立のはざままで~」(2008年・洋泉社)

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: [info@nakagawagen.net](mailto:info@nakagawagen.net)

(表面からつづく)

いずれにしてもこれらは予算「案」ですので、7日から始まる3月定例市議会で、可決成立しなければ絵に描いた餅となります。本会議場での代表・一般質問や採決、予算委員会での審議等、いずれも市民生活に直結する大切な議論の場です。ぜひ傍聴又はネット中継での視聴をよろしくをお願いします。

3月7日(水)10:00開会(提案説明)

12日(月)代表質問

13日(火)一般質問

14日(水)一般質問・予算特別委員会(資料要求)

16日(金)・19日(月)・21日(水)・22日(木)予算特別委員会

26日(月)閉会(採決等)

詳しくは議会事務局(0742-34-4791)まで

## 衆議院予算委員会へ

3月2日に行われた衆議院予算委員会の中央公聴会に公述人として意見を述べる機会を頂きました。公聴会は国会法で「総予算及び重要な歳入法案」について開催が義務付けられているものですが、通常は大学教授や経済団体の長が多いようで、地方の首長が呼ばれる事は珍しいとのこと。私は与えられた20分の中で3点について述べました。まず1点目は「国と地方の行革努力の差」について、職員数や給与の削減率、行革実績などを基に国の遅れを指摘しました。最近では「増税前に行革を」が世論の潮流になってきましたが、実際に数字で比較してみると予想以上に国は「濡れ雑巾」状態であることが分かりました。2点目では「国の制度によって地方が振り回されている状況」について。子ども手当のように短い期間で何度も制度変更が発生すると現場の窓口が混乱するだけでなく、システム改修費もムダである点(奈良市の場合、2年半で3回・約1900万円)を指摘しました。3点目は総括として、「現場とかけ離れたところで政策や制度を作るからズレたものやムダなものが多くなる。国がしくみを作り地方が従うという構造をもう一度根本的に変えなければならない。それこそが民主党政権が掲げた地域主権ではなかったか」と問いました。各党の代表者からの質疑も含め、インターネットで「衆議院TV」を検索して頂くと、「ビデオライブラリ」の3月2日に当日の様子が録画されていますので、ぜひご覧ください。

## 3.11復興の灯(ともしび)～友姉の絆～

昨年3月11日に東日本大震災により未曾有の大災害が発生してから、まもなく一年を迎えます。これにあたり、犠牲者への追悼と、一日も早い復興への願いを込めて、友好都市である宮城県多賀城市・福岡県太宰府市と連携し、3市の各会場で一斉にろうそくを灯します。当日は市民の方々の献灯も受付します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

■日時 平成24年3月11日(日)午後6時から午後8時(荒天中止)

午後5時 開場

午後6時 点灯

午後6時半 セレモニー(奈良市長あいさつ、奈良県下に來られている被災者からのメッセージ、被災地に向けてのメッセージ、宮城県多賀城市・福島県郡山市からのメッセージ)

午後7時 レクイエムコンサート(歌:岡田由美子、電子ピアノ:南木優子)

午後8時 消灯

■場所 平城宮跡第一次大極殿前広場

※会場周辺に駐車場はございません。

※当日はJR奈良駅及び近鉄奈良駅から、会場行き無料シャトルバスを運行します。

■主催 奈良市、3.11復興の灯(ともしび)実行委員会

■お問い合わせ 観光経済部 観光戦略課

電話番号:0742-34-4739 Fax番号:0742-35-6822 メールアドレス:kankousenryaku@city.nara.lg.jp

## 後援会からのお願い

毎週金曜日(午前7時～8時)は朝立ち(駅頭演説)を続けています。市民みなさんと直接出会える貴重な機会だと思い、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力をお願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報広聴課まで。

## 仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>

Email [info@nakagawagen.net](mailto:info@nakagawagen.net)

FAX 0742-26-0398

## ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街と一緒に創っていきましょう!

